

關東上陸地支局

昭和三年一月十七日

史実調査參考資料 報告

摘要

所在地

中繩縣宮古島

職官 第十中隊附

終戦時、E  
可記不

所屬部隊

歩兵第三聯隊

氏名 陸軍中尉

職、変更及主  
たる参加戦斗  
名ヲ記ス

支那事变  
以降、略  
自己、略

昭和七年十月一日任少尉 歩兵第三聯隊附 第百四  
全 九月十五日 陸軍旗手 命也  
昭和三十二年一月廿日 第百四

所在部隊

編成年月日 明治七年十二月十九日

及編制  
備考

昭和三十二年六月二十七日  
乙師團

所屬部隊  
作戦經過  
概要

昭和三十二年八月 中繩縣宮古島上陸  
昭和三十二年八月 宮古島上陸

最後、所屬部  
隊ヲ主ニ  
尚、以前、  
所屬部隊、  
合、概記ス

終戦又、公方  
戦斗終了  
後、概況

自活作業ニ依リ復員待機  
昭和三十二年一月十五日米船五六七号ニ乗航宮  
古島去帆  
昭和三十二年一月十五日浦賀上陸  
右期間等紀屬云

帰還輸送  
ノ概況ヲ併  
記ス

帰郷(又、送  
送)先

其他ノ考  
考事項

備考

特設ニ記載セシ又才二復員者 史実部ニ送付ス



關東上陸地支局

昭和三年一月十八日

史実調査參考資料報告

摘要

所在地	所屬部隊	職官	氏名	職官	終戰時の 口説
神繩縣宮古島	歩兵第三聯隊	歩兵第三聯隊第十一中隊附	[Redacted]	[Redacted]	終戰時、口説不
支那事変	本郷聯隊司令部附				職、変更及至 終戦時、口説不
以降、終戦 自己、略す	1. 昭和三十二年七月十五日 2. 昭和三十二年七月十五日 3. 昭和三十二年七月十五日 4. 昭和三十二年八月十五日 5. 昭和三十二年八月十五日				
所在部隊 編成年月日 及編制裝 備、概要	曲五、六、二〇部隊 (歩兵第三聯隊) 昭和三十二年六月十七日臨時編成、下令出動				
所屬部隊 作戰經過 概要	昭和三十二年八月二十三日 宮古島に上陸 十月以降、漸次空襲を受ける、射撃訓練に従事 昭和三十二年十一月一日、作戦中止、台湾沖海空戦、神繩 航空隊戦三対空に宮古島に襲来せし敵機、迎 撃、退去				最後、所屬部 隊、主として 尚、以前、 所屬部隊、 令、口説不
終戦後、西南諸島、宮古島に在り	昭和三十二年十一月十八日、宮古島より帰還す				帰還輸送 ノ状況、口説 不
其他ノ事 考事項	丁ニ				
備考	昭和三十二年十一月十八日、宮古島より帰還す 米船「エベレスト」に依り、帰還す、輸送、口説不 良好、給食、不足				

昭和三十二年十一月十八日、宮古島より帰還す

昭和三十二年十一月十八日、宮古島より帰還す

關東上陸地支局

昭和三年一月十八日

史実調査参考資料報告

摘要

所在地	支那部隊	職官	氏名	摘要
支那部隊	支那部隊	職官	氏名	摘要
支那部隊	支那部隊	職官	氏名	摘要
支那部隊	支那部隊	職官	氏名	摘要
支那部隊	支那部隊	職官	氏名	摘要
支那部隊	支那部隊	職官	氏名	摘要
支那部隊	支那部隊	職官	氏名	摘要
支那部隊	支那部隊	職官	氏名	摘要
支那部隊	支那部隊	職官	氏名	摘要
支那部隊	支那部隊	職官	氏名	摘要
支那部隊	支那部隊	職官	氏名	摘要
支那部隊	支那部隊	職官	氏名	摘要
支那部隊	支那部隊	職官	氏名	摘要
支那部隊	支那部隊	職官	氏名	摘要

12

職官更及至  
終戰時ノ至  
ノ記又

最後ノ所屬部  
隊ヲ主ニ  
尚ソ以前ノ  
所屬部隊ノ  
合テ概記ス

帰還輸送  
ノ状況ヲ併  
記ス

將校ニ記載セシメテ一復員者ノ史実部ニ送付ス



關東上陸地支局

昭和 年 月

大実調査参考資料報告

所在地 中樞縣宮古島

職官 陸軍中尉

所属部隊 歩兵第三聯隊

氏名

[Redacted Name]

摘 要

支那事変  
以降の  
自己略

昭和十七年三月渡滿(哈爾濱) 運河有河利  
昭和十九年七月源利本發(勅令下合)  
八月沖漢野宮古島ニ到着  
沖繩天号機斗ニ参加 終戦到ル

職名更及主  
たる参加戦斗  
名ヲ記ス

所在部隊  
編成年月日  
及編制裝  
備概要

曲豆五ノ二口部(歩兵第三聯隊)  
昭和十九年五月二十七日臨編令下合出動

在編部隊  
作戦経過  
概要

昭和十九年八月宮古島上陸  
土月以降漸時陸龍谷ヲ受テ  
対空射撃ニ参加シ

最後所属部  
隊ヲ主ニ  
尚ソ以前  
所属部隊  
令ヲ概説ス

終戦(大東  
戦斗終了)  
後概況

昭和十九年八月十日迄大砲ヲ以テ戦斗ス  
終戦後宮古島ニアリ ↓ 歸還  
歸還輸送状況  
米(五)エハソト字ニヨリ輸送セラルモ危義甚  
其ノ他待遇良好ニテ之ニ満足

帰還輸送  
ノ状況ヲ  
記ス

帰郷(大東  
戦)先

其他ノ参  
考事項

ナシ

備考

特設ニ記載セシメテ復員者大実部ニ送付ス

昭和二年八月  
 昭和二年八月  
 昭和二年八月  
 昭和二年八月

昭和二年八月

昭和二年八月

大実調査参考資料報告

摘要

所在地	所属部隊	職官 氏名	摘要
交那事変	歩兵第三聯隊	[Redacted]	職、交更及主 たる参加戦斗 名ヲ記ス
昭和三十八年四月	昭和三十八年四月	昭和三十八年四月	昭和三十八年四月
昭和三十九年七月	昭和三十九年七月	昭和三十九年七月	昭和三十九年七月
昭和三十九年六月	昭和三十九年六月	昭和三十九年六月	昭和三十九年六月
昭和三十九年八月	昭和三十九年八月	昭和三十九年八月	昭和三十九年八月
昭和三十九年八月	昭和三十九年八月	昭和三十九年八月	昭和三十九年八月
昭和三十九年八月	昭和三十九年八月	昭和三十九年八月	昭和三十九年八月
昭和三十九年八月	昭和三十九年八月	昭和三十九年八月	昭和三十九年八月
昭和三十九年八月	昭和三十九年八月	昭和三十九年八月	昭和三十九年八月

昭

昭和三十九年八月

昭和三十九年八月

昭和三十九年八月

昭和三十九年八月

昭和三十九年八月

昭和三十九年八月

昭和三十九年八月

昭和三十九年八月



陸地文局 昭和三十二年一月

摘要

所在地	所屬部隊	職官	氏名	摘要
沖繩縣宮古島	步兵第三聯隊	陸軍中尉	[Redacted]	終戦時、 可記不
又那事変 以降於 自己略	昭和三十九年七月七日 昭和三十九年八月十二日 守備二任	黑河省瑛瑛具納金出務 沖繩縣宮古島上陸同島	職、変更及主 凡参加戦斗 名可記不	天一号作戦参加 台湾沖航空戦参加(記)
所在部隊 編成年月日 及編制裝 備、概要	昭和三十九年六月二十七日 臨時編成令下台出動	豊五古言部隊(宗兵第三聯隊)	昭和三十九年八月 昭和三十九年十月 昭和三十九年十一月	最後、所屬部 隊ヲ主ニシ 尚ソ以前、 所屬部隊 合テ概記ス
所屬部隊 作戦經過 概要	昭和三十九年八月宮古島上陸同島守備	同 同 同	台湾沖航空戦ニ参加(記)	天一号作戦ニ参加
終戦(又公方) 戦斗終了 後、概況	昭和三十九年八月終戦、大詔ヲ以テ戦斗停止	戦斗終了後、E部隊長ト同係年穩ニ	昭和三十九年十一月宮古島出務	帰還輸送 ノ状況ヲ備 記ス
其他、参 考事項	右、帰郷先ニ不確実ナリ	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
備考	昭和三十九年八月終戦、大詔ヲ以テ戦斗停止	昭和三十九年八月終戦、大詔ヲ以テ戦斗停止	昭和三十九年八月終戦、大詔ヲ以テ戦斗停止	昭和三十九年八月終戦、大詔ヲ以テ戦斗停止

M



關東上陸地支局

昭和21年 1月

17日

史実調査參考資料 報告

所在地

中繩島宮古島

職官

陸軍中尉

600

摘要

所屬部隊

歩兵第三聯隊

氏名

[Redacted Name]

終戦時、  
可記ス

支那事変  
以降、  
自己、  
略シ

昭和十九年八月、  
黒河有綱金出発、  
西南諸島宮古島に上陸、  
同島に守備に任ズ

職、  
変更及至  
タル、  
参加戦  
名ヲ記ス

所在部隊、  
編成年月日、  
及編制裝  
備、  
概要

豊五六〇部隊 (歩兵第三聯隊)  
昭和十九年六月二十七日、  
臨編令下令出動

所屬部隊  
作戰經過、  
概要

昭和十九年八月、  
宮古島に上陸、  
同日、  
士月以降、  
敵方タル空襲ヲ  
受テ、  
血戦ニ努ム

最後、  
所屬部  
隊ヲ至ニ  
尚ソ以前、  
所屬部隊、  
合テ概記ス

終戦(又、  
方  
戦斗終了)  
後、  
概況

昭和二十年、  
天一号作戦、  
台湾沖、  
航空戦、  
降、  
地、  
航空兵力を滅亡ニ努ム、  
八月十五日、  
終戦、  
大詔ヲ以テ、  
戦斗停止ス

帰還輸送  
ノ概況ヲ併  
記ス

帰郷(又、  
送  
送)先

[Redacted]

其他、  
考事項

備考

特設ニ記載セシ、  
才二履首者、  
史実部ニ送付ス

關東上陸地支局

昭和十一年一月一日

史実調査参考資料報告

摘要

所在地

沖繩縣宮古島

職官 歩兵第三聯隊第九中隊隊付

終戦時ノモリ

所属部隊

歩兵第三聯隊

氏名 陸軍少尉

[Redacted]

ヲ記ス

支那事変  
以降ノ於テ  
自己ノ略

歩兵第三聯隊隊付  
自昭和十一年七月七日  
至昭和十一年七月七日  
香港市茶子以迄中隊隊付  
源利出役(一泊以下ノ)

昭和十一年七月七日  
沖繩縣宮古島に到着  
上中隊隊長多野中尉に  
終戦時ニ到

職官変更及至  
在参加戦斗  
名ヲ記ス

所在部隊  
編成年月日  
及編制裝  
備ノ概要

豊五六二部隊(歩兵第三聯隊)  
昭和十一年六月二十七日  
臨時編成下令出動

所属部隊  
作戦經過  
概要

昭和十一年八月二十日  
宮古島に上陸  
十日以降漸次各地  
一更ノ討空射撃ヲ  
昭和十一年八月二十日  
一更ノ討空射撃  
沖繩航空決戦ニ打込  
シ宮古ニ駐在ス  
防務ニ専ラシム

最後ノ所属部  
隊ヲ主ニ  
尚ソ以前ノ  
所属部隊ノ  
合ヲ概記ス

終戦(又チ  
戦斗終了)  
後ノ概況

終戦後西中浦島宮古島ニ  
ヨリ帰還ス  
歸還輸送状況  
米船エハレット号ニヨリ  
帰還シ輸送回車に  
正倉巻又自好ナリ

帰還輸送  
ノ状況ヲ  
何  
記ス

帰郷(又チ  
終)先

[Redacted]

其他ノ参  
考事項

ナ

備考

特授ニ就戦セシ又チ復員者  
史実部ニ送付ス

所在

神戶兵工廠

戰官 陸軍少尉

高橋 了

新馬部隊

步兵第三聯隊

兵名

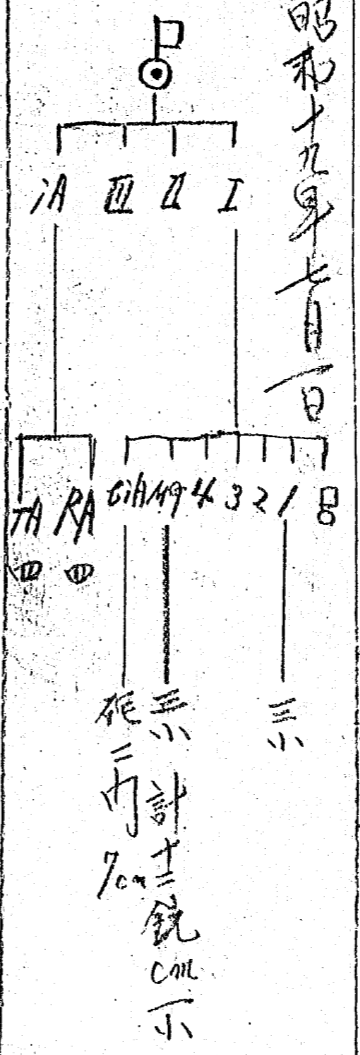


支那軍支隊  
以降三於  
自己、略下

昭和三年八月、天津附近、張北、張家口附近、察哈爾作戦参加、大同附近、戰鬥、綏遠、包頭、附近、戰鬥、(以上陸軍本部書記) 自昭和九年、自蒙古島、身痛、其、砲、隊長、及、檢閲、砲、隊長

職、者、更、乃、主、ル、各、加、隊、分、石、記、ス

所在、知、悉、  
編、成、年、日、  
本、編、成、後、備、  
機、要



高、橋、了、所、屬、加、隊、主、三、高、橋、了、所、屬、加、隊、主、三

新馬部隊  
作成、経、  
過、概、要

察哈爾、戰鬥、蒙古、可、破、竹、進、甚、止、所、以、外、長、城、張、家、口、天、鎮、陽、高、聚、集、保、大、同、内、長、城、厚、果、綏、遠、昭、和、三、年、會、同、古、島、上、陸、砲、地、橋、築

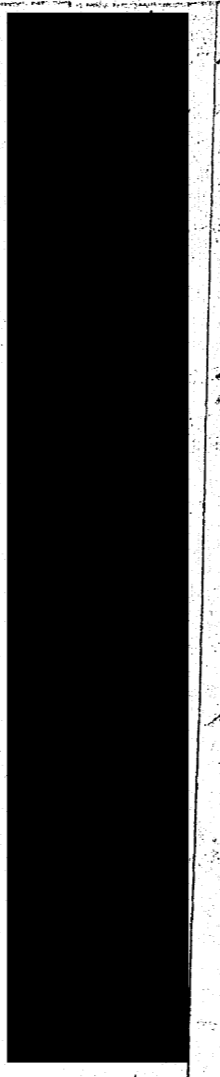
記、ス

後、概、要

終、戦、後、年、清、地、於、自、強、作、業、事、業、會、又、軍、規、嚴、正、維、持、名、言、清、事、有、ク、リ、輸、送、機、米、米、車、一、母、意、忘、助、月、ヲ、得、ク、リ、船、外、亦、後、三、起、居、自、由、ナ、リ

海、運、輸、送、状、況、ヲ、併、記、ス

帰、郷、又、連、  
絡、先



其、他、各、  
考、事、項

備考

將、校、二、記、載、之、中、一、復、員、者、史、實、部、二、送、付、ス